

平安時代①

794年 - 1185年

人物

- 桓武天皇（長岡京→平安京）
- 坂上田村麻呂（最初の征夷大將軍）
- 最澄（天台宗 比叡山に延暦寺）
- 空海（真言宗 高野山に金剛峯寺）
- 菅原道真（894年遣唐使廃止）
- 藤原道長（摂関政治をはじめる）

重要事項

摂関政治（摂政や関白が中心となった政治）

摂政と関白

天皇が幼い場合代わりに政治を行う

成長した天皇を補佐する

国風文化

頻出記述問題

日本の風土や生活にあった文化

- 平等院鳳凰堂（極楽浄土の姿を表した建物）
- 仮名文字（漢字を変形させて日本語を表す）
- 古今和歌集（紀貫之）
- 枕草子（清少納言）
- 源氏物語（紫式部）

藤原氏

頻

娘を天皇のきさきに生まれさせた孫たちを天皇にし
大きな力をにぎった。

藤原道長がよんだ歌

藤原道長がよんだ歌

この世をば
わが世とぞ思う
望月の欠けたることも
なしと思へば

この世は私のための世界のように思える。まるで満月の欠けたところのないように、満ち足りた思いがするのだから。

この世は自分のためにある！！
満月のように自分には欠けている
所なんてない！！自分は完璧だ！